

公開 事業所における自己評価結果

事業所名 心身障害児総合医療療育センター

公表日 2026年3月6日

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わから ない |
|---|--|------|---------------|-----|-----------|
| ① | 利用者の定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | | | |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | 75% | 25% | | |
| ③ | 生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか | 100% | | | |
| ④ | 業務課題や改善を検討する会議等に職員が参画しているか | 75% | 25% | | |
| ⑤ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 50% | 50% | | |
| ⑥ | 職員の資質向上を行うために、研修の機会を設けているか | 75% | 25% | | |
| ⑦ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を検討した上で、個別支援計画を作成しているか | 100% | | | |
| ⑧ | 個別支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、支援目標が検討され、支援されているか | 100% | | | |
| ⑨ | 活動のプログラムの立案をチームで行っているか | 50% | 50% | | |
| ⑩ | 活動のプログラムが固定されないよう工夫しているか | 50% | 50% | | |
| ⑪ | 支援開始前には職員で打合せをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか | 100% | | | |
| ⑫ | 支援終了後には、職員間で打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか | 100% | | | |
| ⑬ | 日々の支援に関して記録をとり、支援の検証・改善につなげているか | 100% | | | |
| ⑭ | 地域の保健、医療、障害福祉機関、学校等の関係機関と連携を行っているか | 50% | | | 50% |
| ⑮ | 子どもの主治医や協力医療機関等との連絡体制を整えているか | 100% | | | |
| ⑯ | 移行支援として、児童発達支援事業所、保育所や認定子ども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有等の情報共有と相互理解を図っているか | 50% | | | 50% |
| ⑰ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有等の情報共有と相互理解を図っているか | 100% | | | |
| ⑱ | 他の部門等と等と連携して助言等を受けているか | 50% | 25% | | 25% |

| | | | | | |
|---|---|------|-----|--|-----|
| ⑲ | 地域の子ども・子育て支援会議等へ積極的に参加しているか(ネットワーク会議、事業所連絡会など) | 75% | | | 25% |
| ⑳ | 子どもの状況を保護者と伝え合い、健康や発達状況、課題について共通理解を持っているか | 75% | 25% | | 0% |
| ㉑ | 運営規定、利用者負担等について説明を行っているか | 100% | | | |
| ㉒ | 個別支援計画を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者からの個別支援計画の同意を得ているか | 100% | | | |
| ㉓ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適宜応じ、必要な助言と支援を行っているか | 100% | | | |
| ㉔ | 相談や申し入れについて、対応の体制が整備され、子どもや保護相談や申し入れした際に迅速かつ適切に対応されているか | 100% | | | |
| ㉕ | 定期的に活動予定、連絡体制等の情報が子どもや保護者に対して発信されているか | 75% | 25% | | |
| ㉖ | 個人情報の取り扱いに十分に注意されているか | 100% | | | |
| ㉗ | 感染の発生、非常災害の発生等に備え、情報提供が行われているか | 50% | 25% | | 25% |
| ㉘ | 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか | 75% | | | 25% |
| ㉙ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか | 75% | | | 25% |
| ㉚ | ヒヤリハットを確認し、事業所内で共有しているか | 100% | | | |
| ㉛ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | | | |
| ㉜ | 身体拘束について、組織的に了解され、配慮されているか | 100% | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・活動に専門職や職員が不足なく参加できるように、体制を整えるようしていきます。 ・研修や研鑽の機会が取りにくい状況なので、部門内の研修、施設内外の研修の在り方を検討していきます。 ・必要な情報は保護者から収集していますが、必要に応じて主治医からも情報を取るようしていきます。 | | | | | |